

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	歴史学プログラム

学年別ディプロマ・ポリシー（学年別評定方針）

KUGSは英語圏の「グローバル・スクール」といふべき、人文学部では常に挙げるすぐれた能力と質を貢献して新たな情報や価値を創造し社会に貢献できる学生に学士・文学部の学位を授与する。

人文学部では、人間社会の問題を解決するため、人間や社会、環境をもぐる問題を研究から見出すことができる。（→KUGS1-5[対応]）

2. 社会科学的知識を用いる考え方

人間社会の問題を解決するための知識と、文脈解釈などさまざまな異なる方法を、系統立てて理解・習得・説明できることと、それを活用して現代社会における多様な課題の具体的な解決につなげること。（→KUGS1-2[対応]）

3. 選択する「主たる」教養収得と自己の自己表現の能力

選択する「主たる」教養収得と自己の自己表現の能力をもつた必要な知識と技術をもつて主体的に収集、分析、統合し、自らの見解や価値観を形成するとともに、明確な論理構成能力高い文章表現能力で自己を説くことができる。（→KUGS1-3[対応]）

多角的視点による批判的思考と教養・コミュニケーション能力

異なる立場の人間とともに意見を交換するための基礎知識や見解に対する高い興味と理解・癡考をしており、日本語そして外語を用いて異論を有する者とともに柔軟かつ適切に

→KUGS1-4[対応]

プログラムのディプロマ・ポリシー(学修指向方針)

授業プログラムでは、人間の社会・文化・思想・思考・行動・創造について知る人文学科の成果を学び、教員モデルを参考しつつ、それぞれの志趣に応じて選択した分野・地域を中心とする選択的科目を用いて、より深い知識と専門性を身につけて人材を養成する。学士(文)の学習は授業された生徒、以上の人文養成目標に則り、かつ各学部のディプロマ・ポリシーに示すように、各学部の教育目標を達成する。

学年・プログラムのOPCカリキュラム編成方針

中行公司

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	歴史学プログラム

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	歴史学プログラム

国際化アドバイザリーボードによる評議会(実習実施方針)								プログラムのディザイナーボードによる評議会(学習実施方針)										
国際化アドバイザリーボードによる評議会(実習実施方針)				プログラムのディザイナーボードによる評議会(学習実施方針)				国際化アドバイザリーボードによる評議会(実習実施方針)				プログラムのディザイナーボードによる評議会(学習実施方針)						
登録年月	全科目	専門科目	選択科目	学年	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	△	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	△	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
41028	中国歴史概1			2,3,4		*			△						○	○		
41029	中国歴史概2			2,3,4		*		*	△						○	○		
41030	東アジア史概要A			2,3,4	*				△						○	○		
41031	東アジア史概要B			2,3,4	*				△						○	○		
41032	東アジア史概要B1			2,3,4		*			△						○	○		
41033	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41034	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41035	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41036	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41037	東アジア社会制度比較			2,3,4	*				△						○	○		
41038	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41039	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41040	東アジア社会制度比較			2,3,4	*				△						○	○		
41041	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41042	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41043	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41044	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41045	東アジア社会制度比較			2,3,4	*				△						○	○		
41046	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41047	東アジア社会制度比較			2,3,4	*				△						○	○		
41048	中国唐宋時代史料論			2,3,4	*				△						○	○		
41049	中国唐宋時代史料論A1			2,3,4	*				○	◎				△	△	△		
41050	中国唐宋時代史料論A2			2,3,4	*				○	◎				△	△	△		
41051	中国唐宋時代史料論A1			2,3,4	*				○	◎				△	△	△		

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	歴史学プログラム

プログラムのカリキュラム									
番号	単元名	単元の学習目標	学年	①	②	③	④	⑤	⑥
41037	中国歴史時代比較論A2	中国の古代・元代の間に書かれた史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	2,3,4			*		○	◎
41038	中国歴史時代比較論A1	中国の明清代の間に書かれた史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	2,3,4		*		○	◎	△
41039	中国歴史時代比較論A2	中国の明清代の歴史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	2,3,4		*		○	◎	△
41040	中国歴史時代比較論B1	中国の唐宋時代の歴史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	3,4		*		○	◎	△
41041	中国歴史時代比較論B2	中国の唐宋時代の歴史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究・特に社会経済史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	3,4		*		○	◎	△
41042	中国歴史時代比較論B1	中国の唐宋時代の歴史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究・特に社会経済史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	3,4	*			○	◎	△
41043	中国歴史時代比較論B2	中国の唐宋時代の歴史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究・特に社会経済史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	3,4	*			○	◎	△
41044	中国歴史時代比較論B1	中国の明清代の歴史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究・特に社会経済史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	3,4	*			○	◎	△
41045	中国歴史時代比較論B2	中国の明清代の歴史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究・特に社会経済史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	3,4	*			○	◎	△
41046	東アジア政治制度比較論A1	東アジアの政治制度史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	2,3,4	*			○	◎	△
41047	東アジア政治制度比較論A2	東アジアの政治制度史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	2,3,4	*			○	◎	△
41048	東アジア社会経済史論A1	東アジアの社会経済史に関する史料を読み通し、漢文書と中国語訳文の意味・用法の調べを食得する。 -中国史研究・東アジア史研究における史料と知識の選択をもとにける。 -レシューのやり方、発表の仕方を得体する。	2,3,4	*			○	◎	△

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	歴史学プログラム

プログラムのカリキュラム													
科目名	専門性	専門性	学年	Q1	Q2	Q3	Q4						
41040	東アジア社会経済史研究A	東アジア社会経済史	2,3,4				*		○	◎		△	△
41050	東アジア政治制度と比較政治	東アジア政治制度	3,4			*			○	◎		△	△
41051	東アジア政治制度と比較政治B	東アジア政治制度	3,4			*			○	◎		△	△
41052	東アジア社会経済史研究B	東アジア社会経済史	3,4	*					○	◎		△	△
41053	東アジア社会経済史研究B	東アジア社会経済史	3,4		*				○	◎		△	△
42765	西洋史学研究法基礎演習A	西洋史学研究法	3,4	*					○	○	○	◎	△
42767	西洋史学研究法基礎演習B	西洋史学研究法	3,4	*					○	○	○	◎	△
42768	西洋史学研究法基礎演習A	西洋史学研究法	3,4		*				○	○	○	◎	△
42769	西洋史学研究法基礎演習B	西洋史学研究法	3,4		*				○	○	○	◎	△
41055	東洋史学研究方法A	東洋史学研究方法や 基礎知識を	2,3,4	*					○	○	○		
41057	東洋史学研究方法B	東洋史学研究方法や 基礎知識を	2,3,4		*				○	○	○		
41058	東洋史学研究方法A	東洋史学の研究方法や 基礎知識を	2,3,4		*				○	○	○		
41059	東洋史学研究方法B	東洋史学の研究方法や 基礎知識を	2,3,4			*			○	○	○		
42770	地中海世界史概観	古代-中世における地中海世界の歴史と文化を理解する。	1,2,3,4	*					◎			◎	◎
41745	西洋中世史概観A	ヨーロッパの中世の全貌を把握する。また、西洋史の基礎知識を理解する。	1,2,3,4	*					◎			◎	◎
41746	西洋中世史概観B	西洋の中世の全貌を把握する。また、西洋史の基礎知識を理解する。	1,2,3,4	*					◎			◎	◎
41747	西洋近代史概観A	西洋近代史の歴史的研究の読み方を理解する。	1,2,3,4		*				◎			◎	◎
41748	西洋近代史概観B	西洋近代史の歴史と発展する。また、西洋史の基礎知識を理解する。	1,2,3,4			*			◎			◎	◎
42791	地中海世界史概観	古代-中世における地中海世界、とりわけビザンティン帝国、アラブ帝国、西洋史の基礎知識を理解する。	2,3,4	*		*			○			○	○
42792	地中海世界史概観	古代-中世における地中海世界、とりわけビザンティン帝国、アラブ帝国、西洋史の基礎知識を理解する。そのカニシムを理解する。	2,3,4	*	*	*			○			○	○
42793	地中海世界史概観	ヨーロッパ-中央新作史の基礎知識を理解する。また、西洋史の基礎知識を理解する。	2,3,4	*	*	*			○			○	○
41795	西洋中世史概観A	ヨーロッパ-中央新作史の基礎知識を理解する。また、西洋史の基礎知識を理解する。	2,3,4	*	*	*			○			○	○

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	歴史学プログラム

国際教養アセスメント・ポリシー（実験段階）

国際教養アセスメント・ポリシー（実験段階）を以下に示す。入学試験では取り扱うべきする能力と費用を以て新たな情報や情報を創造し、社会に貢献できる学生に「学士」の称号を授与する。

1. 重要な知識・問題解決能力

2. 社会的行動と社会的責任感

3. 理論的思考と批判的思考を有し、常に好んで好奇心を持ち、人間や社会、環境をめぐる諸課題を自ら発見することができる。(=UGS13に對応)

4. 学習意欲と学習態度

5. フィジカル・マテマティカル・ラーニング

6. プロセスによる問題解決と問題認知、文脈認識とことばない情報への方法、系統立てて積み重ね、習慣化して覚えることにより、それを活用して現代社会における多様な課題の具体的解決に忍耐強く取り組む

7. 過去の主な知識と既往経験との連絡と自己の潜在的能力

8. 多様な文化、言葉、歴史の中から必要なものを切抜いて主体的に収集、分析、統合し、自らの見解や価値観を構成するとともに、明確な論理構成能力をもつ文章表現力を自分で鍛錬が得られる

9. 多様な問題に対する自己の理解と問題解決のコミュニケーション能性

10. 全般の知識を統合し、異なる文化や知識でも含めた他の多様な価値観や見解に対する高い開かん心と深い洞察的理解を有しており、日本そしてその國を用いて実績を有する有志の人々と本質かつ適切に意見交換する

プログラマティック・アセスメント・リレー(授業実施方針)

プロセス	目標	行動	評価
個人の入浴の実験や確認	自分だけの問題にして、多くは他人の問題と見なす	自分自身で問題にして、自分自身で手段を確立して情報を収集し、必要な知識を得て、問題解決策を導き出す	多くの文書にあり、より多くの学習材料を相手に説明したり、口頭で説明したりして、口頭で報告することができる
代謝作用の確認	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る
自己実現の確認	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る
投げ出さない	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る
投げ出さない	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る
投げ出さない	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る	問題を抱えると異なる立場の対象に対して、より多くの知識を得る

プログラムのカリキュラム

Digitized by srujanika@gmail.com

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	歴史学プログラム

学部のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

- UGS: **英語学習・グローバル・スクール**を主とする、人文科学系に限らず、実践的・実用的な知識・技術を身に着け、社会で活躍できる人材を育成するための教育・研究機関。人間社会と同時に世界を構成する「人間」と「社会」、環境と社会・環境と人間の連携を発展させることが目的。(「UGS」に於ける)「人間」とは、個人と同時に社会を構成する「人間」として、常に如何に社会的立場を持ち、他人や社会、環境と連携して社会を発展させることが可能。(「UGS」に於ける)「社会」は、個人の行動規範や規範、社会的立場や立場規範、社会的規範や規範、社会的行動規範や規範などである。
2. 社会科学的知識を用いて現象を解説する。
3. 現象を解説する際には、現象の背景と、文献解説によって異なる考え方の方程式、系統立てて導く論理説明ができるとともに、それを活用して現代社会における問題を解決する。
4. 過去から現在までの現象の変遷と、将来自由意志の運営力
5. 現象を解説する際には、現象の背景と、文献解説によって異なる考え方の方程式、系統立てて導く論理説明ができるとともに、それを活用して現代社会における問題を解決する。
6. 多角的・多面的・多層的・多文化的・多言語的視点によるニーズへの対応
7. 現象を解説する際には、現象の背景と、文献解説によって異なる考え方の方程式、系統立てて導く論理説明ができるとともに、それを活用して現代社会における問題を解決する。
8. 現象を解説する際には、現象の背景と、文献解説によって異なる考え方の方程式、系統立てて導く論理説明ができるとともに、それを活用して現代社会における問題を解決する。

プログラムのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

- 歴史学プログラムでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、履修モデルを参考として、それぞれの志望に応じ選択した分野・地域を中心とする医学的専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・マークにより「規範とする言葉をもつて語る能力」以下のような上場実習能力をもつて卒業する。

学部・プログラムのCP(カリキュラム編成方針)

【学類のCP】

プログラムの学習成果(◎=学習成果を上げるために研修することが求められる科目)

- 過去の人類の現状をとどめ、定めた課題に対する、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知識を獲得する力、創造的思考力を高めることができる。

参加を求めるとともに双方向的な授業を進めることで、専門的知識の獲得に加えて、5・4年次には全プログラムにおいて卒業論文演習を通じて卒業論文を作成する。卒業

がら、学生自らが課題やテーマを設定し、データ・資料の説明に加えて批評・批判・異論に耳を傾けることで、

- 「プログラム」を「実験」する。年次生の「歴史学習」における「実験」が実現される。文部省基準科目「グローバルヒストリー」歴史と現在に1:2の移行を通して、歴史全般の基礎知識と方法論を学ぶ。そして各科の選択する「実験」を実施する。この中で、モードを「実験」する。2年次、または3年次から選択科目を履修し、要史研究における論述の読み方、史料の分析と読解方法を実践的に学習する。このほか、履修モデルでの授業、および学生各自の興味に応じて基礎講義、免許試験問題、演習科目を選択し、専門的知識を習得する。

会しな

- 自己の

プログラムのカリキュラム

標 名 稱	標 名 稱

Page 1

- 100% of the time, the system will be able to correctly identify the target word.

プログラムのカリキュラム

学年	単元	1	2	3	4							
31008	卒業論文演習D	4		*		*		*	*	*	*	*
31009	卒業論文	4		*	*	*	*	*	*	*	*	*
11057	人文学序論A	1	*	(*)			*				*	*
11058	人文学序論B	1	*	(*)			*			*		*
11059	人文学序論C	1	(*)	*			*			*		*
11060	人文学序論D	1		(*)	*			*			*	*
11063	現代社会・人間入門	1~4		*				*				*
11064	哲学の基礎	1~4				(*)						*
11065	社会情報学A	1~4	*									*
11066	社会情報学B	1~4		*								*
11067	ジンダーと社会A	1~4			*							*
11068	ジンダーと社会B	1~4				*						*
42621	知覚・認知心理学A	2~4										*
42622	知覚・認知心理学B	2~4										*
42623	学習・言語心理学A	2~4										*
42624	学習・言語心理学B	2~4										*
42625	感情・人格心理学A	2~4										*
42626	感情・人格心理学B	2~4										*
41475	古代文明論	2年		*				*				*
11069	北陸の考古学	2年		*			*					*
11070	宗教藝術論	2年		*								*
11071	イメージを読み解く	2年	*									*
11072	グローバルヒストリー	2	*					*			*	*
11073	歴史と現実1	1						*			*	*
11079	歴史と現実2	1						*			*	*

